

百島支所庁舎整備基本方針 (素案)

尾道市 総務部 総務課

目 次

1	百島支所庁舎について	1
2	百島支所庁舎整備についての検討の必要性	1
3	手法の検討	1
4	支所整備方針	2
5	規模について	2
6	建替え費用（建築課概算）	3
7	今後のスケジュール	3

1 百島支所庁舎について

建築年：昭和29年（推定）

木造2階建 延べ床面積250.41㎡

倉庫 26.44㎡

2 百島支所庁舎整備についての検討の必要性

支所庁舎は、地域における防災拠点であり、想定される地震にも耐えうる建物である必要がある。

支所庁舎は、昭和29年建築であり、老朽化が著しく耐震強度が不足している可能性が高い。

現在地は、傾斜地であることや、前面道路が狭いこと、バス路線から離れていることなどから、来庁者にとって不便な立地である。

支所職員は、支所長、技術員及び生活相談員の3名であり、現庁舎ほどのスペースは必要ない。

老朽化が激しい百島支所においては、早急な整備が必要である。

3 手法の検討

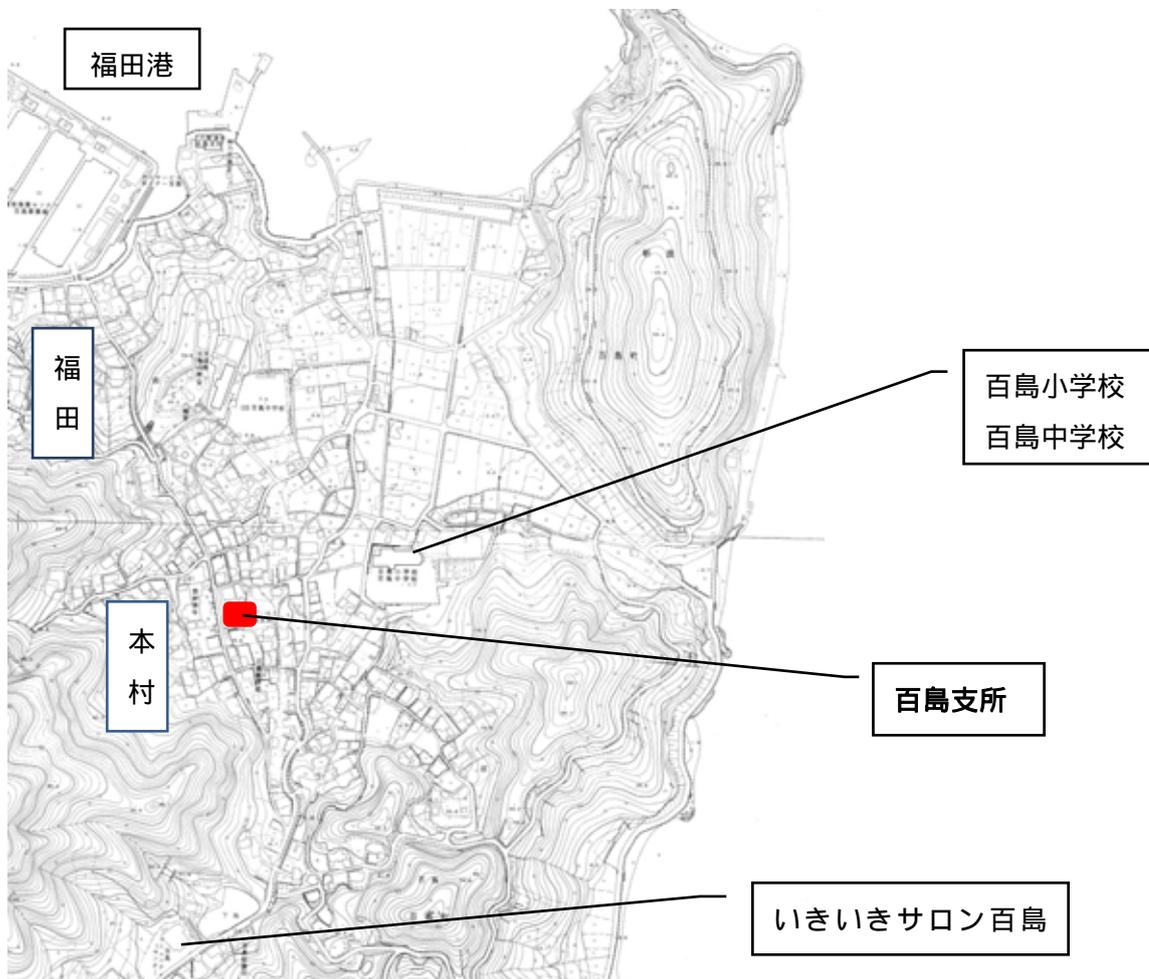
区分	状況等
建替え	<ul style="list-style-type: none">・3案の中で整備費が一番多くかかる。・新耐震基準に基づいた耐震性能の確保が可能・長期にわたって使用できるとともに、ランニングコストの低減が図られる。・バス路線に面した用地を取得することで、高齢者が利用しやすい支所となる。
耐震改修	<ul style="list-style-type: none">・建築後60年が経過しており、老朽化が著しい。・今後、維持・修繕の費用の増大が予想される。・現在の職員の配置状況から、現在の規模は過大となっている。・土石流により被害が想定される区域に含まれている。
既存施設の活用	<ul style="list-style-type: none">・経費が一番少なく済むと考える。・土砂災害、浸水等の被害が想定される区域から外れた箇所に適切な施設はない。・その他の地域においても集落から近く、バス路線に面した場所で、駐車場を完備した施設はない。

4 支所整備方針

災害時においても対応できるよう、防災倉庫を併設する。

現状の職員数に応じた庁舎のコンパクト化を図る。

高齢者の多い百島においては、福田・泊・本村のいずれの集落からも利用しやすい適地を求め整備する必要がある。



5 規模について

職員数：3名（支所長1名、技術員1名、生活相談員1名）

部屋構成：ロビー、事務室、会議室、休憩室、書庫・倉庫、防災倉庫、トイレ

名称	面積(m ²)	備考
事務室	33	
会議室・休憩室	33	
書庫・倉庫	10	
防災倉庫	10	
ロビー・廊下	29	
トイレ	11	
計	126	

6 建替え費用（建築課概算）

（単位：百万円）

内 容	金 額	備 考
庁舎解体工事	8	
庁舎建設	53	木造平屋 126 m ² 、地質調査含む。
設計委託料	4	基本・実施・工事監理
用地取得	4	
計	69	消費税は 10% で計算

7 今後のスケジュール

平成 27 年度 事業執行予定